

学校教育目標	相手の考えや気持ちを大切に、互いに高め合う浜の子 ~見つめ合い・伝え合い・高め合い~			
	○「問い」を大切に、友達との対話的な学びを通して考えを深めながら、意欲的に学びに向かう力を育てます。(知)			
学校概要	創立 76 周年	学校長 谷口 孝雄	副校長 鈴木 祐輔	2 学期制 一般学級: 20 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 636 人	主な関係校: 汐見台中学校、汐見台小学校、山王台小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	汐見台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション力> <自分づくりに関する力> <主体的に問題を解決する力>	汐見台中学校 浜小学校 山王台小学校 汐見台小学校	<自他を大切にしながらコミュニケーション力を豊かに育む子ども> ・一人ひとりが自分の考えをもち、主体的、対話的に学習を進めながら考えを深めるとともに、豊かに表現することができる学習活動を進める。1年生から連続性・一貫性をもって資質能力を育成することができるよう、重点研究や校内研修を通して児童観・指導観の共有を図る。 ・幼保小中が連携し地域で子どもを育てる環境をつくるため、幼保での育ちを理解し、円滑な接続と9年間の育ちを考える幼保小中交流を行う。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切に、まちとのかかわりやつながりが豊かな学校にします。 ・人権教育に基づく「自尊感情を高める授業」を推進し、意欲と対話的な学びを大切にしながら学力を向上させます。 ・社会に開かれた教育課程を推進し、まちの人とのかかわりや地域参画を通して、豊かな学びと心を育みます。 ・体験を通じた学習、実感を伴った学習を充実させ、子どもの表現を大切にしながらコミュニケーション力を育みます。 ・心と体を大切に健康教育を進め、自他を大切に心と態度を育てます。 ・幼稚園・保育園と連携してスタートカリキュラムを充実させ、安心して自己発揮し、学び合いをつないでいきます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①一人ひとりが主体的に取り組み、学びに向かう力を育成するために、自尊感情を高める授業、学習のプロセスや問いを大切に授業、スタートカリの充実を図る。②生活科・「横浜の時間」を重点研とし、まちと積極的にかかわりながら主体的に問題を解決する力を育成する。
豊かな心	①道徳の授業、評価の充実を図り、多角的・多面的な見方・考え方を広げる資質・能力を育成する。②たてわり活動などの交流活動を通して楽しさを共有する喜びを味わい、まちの人と豊かにかかわる学習を通して生き方にふれるとともに、思いやりや感謝の気持ちを育む。
特別支援教育	①早期かつ的確に行えるよう、専任を中心に園と連携して入学前の支援の引継ぎを丁寧に行い、スタートカリキュラムに生かしていく。②特別支援コーディネーターを低・中・高担当に分担し、専任・管理職・校内委員会につなげる支援体制を組み、早期の情報共有と対応を行う。
児童指導	①児童理解、児童指導について職員全体で共通理解し、特別支援教育と連動して指導を行う。②スタンダードの確認、特別支援COの活用を進めるとともに、自己有用感の醸成、自己肯定感を育むコーチング授業などを生かして、いじめの未然防止の取組を行う。
健やかな心と体	①浜スポットの充実と改善を図り、運動に対する親しみと意欲を大切にしながら体力の向上を図る。②全校児童参加の学校保健委員会を通して、一人ひとりが自覚的に心や体の健康について考え、実践できるようにする。
地域連携・学校運営協議会	①まちの人とかわる学習や地域交流行事、つながりを大切にPTA活動、おやじの会等、地域や保護者とかわる機会を大切に、地域環境を「子どもを共に育てる地域環境」へと導く取組を丁寧に進める。②学校運営協議会の発足に向けた準備に取り組む。
自分づくり教育	①生活科・「横浜の時間」を中心に、身近な人やまちとかわりながら体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者とのかわりの中で自己有用感を高めるようにする。②思いや願い、感じたことや考えたことを素直に表現すること、自己決定を大切に、自己発揮できる学級風土を作るようにする。
スタートカリキュラム	①市接続期カリキュラム推進事業に、汐見台東幼稚園とともに取り組む。スタートカリキュラムを6年間のスタートと位置付け、実践からとらえられる子どもの姿をエビデンスとするスタートカリキュラム研究を推進する。②児童支援と連動し、教育課程全体で本校の重点とする資質・能力の育成を目指す。
いじめへの対応	①月1回のいじめ防止対策委員会を確実に実施し、認知された案件やいじめの芽と思われる事案について状況確認を丁寧に行い再発防止に努める。②いじめ防止研修を含む児童理解研修を年6回行い、YPアセスメントを活用するなど、状況把握を的確に行う。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学びたいことを課題とした主体的で対話的なメンターチーム研修・研究を行う。ミドルチームが助言を行うなど、チームの交流を通して双方ともに教師力の向上を目指す。②未然に防ぐ児童指導、適切な保護者対応を組織体制で行うことで重大化を防ぎ、心身ともに安心して働ける職場にする。③ミドルチームを中心に業務の効率化を考えた取組を推進する。